

# 歴史ウオーク

平成18年度企画展のテーマに合わせて、向日神社から大塚野まで歴史のウオークをスタートした時の資料です。ぜひご覧ください。  
(2007.3/31実施)

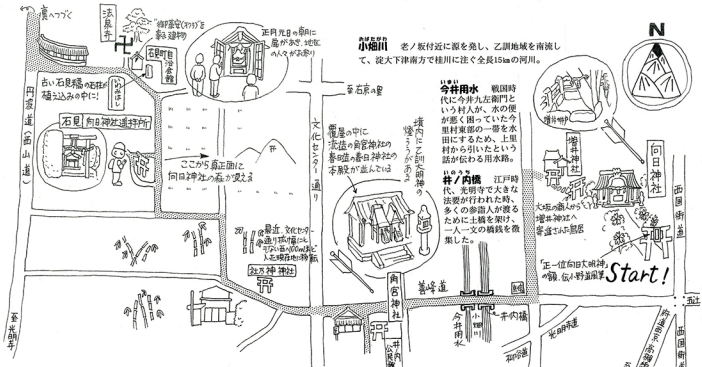
伝説の地を歩く



日時：2007年(平成19)3月31日(土)  
午前9時～12時  
集合：向日神社御所前  
コース：向日神社～増井神社～角宮神社～石見地区～大塚野社(約5km)  
案内：向日市文化資料館エッセイコーナー

## 向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南田内40-1  
tel 075-931-1182 / fax 075-931-1121



### 石見地区

石見祭の時に使った場所であり、真東向日神社を原にできがります。今頃のまわりには、昭和7年(1932)に建てられたが、行政上の区画が異なります。毎年新初期には地区の人々がこの場所に来り、向日神社司宮の司可による年頭祭が営まれます。

### 向日神社遷移前

石見祭の時に使った場所であり、真東向日神社を原にできがります。今頃のまわりには、昭和7年(1932)に建てられたが、行政上の区画が異なります。毎年新初期には地区の人々がこの場所に来り、向日神社司宮の司可による年頭祭が営まれます。

### 増井神社・増井の杵杵

火雷神の荒魂魂を奉る非戸神体とする神社。そのむかし、大塚・長瀬の大火の時、神のお告げにより増井の杵杵を造り、燃えさるるに用ひしと申すといふ話が伝わります。増井神社に隣りて日蓮宗の寺の島原には、「増井 増井神社」「日蓮宗 説法堂 新加羅羅摩十部 大西天竺の文が記されています。

### 角宮神社

非ノ内の氏神で、火雷神を奉ります。古代に菅原正盛あたりたかな神として知られた誤伝火雷神神社の元宮とされています。元は非ノ内の地の西部にありましたが、文明16年(1484)に御旗所であった現在地に再興されたと伝えます。

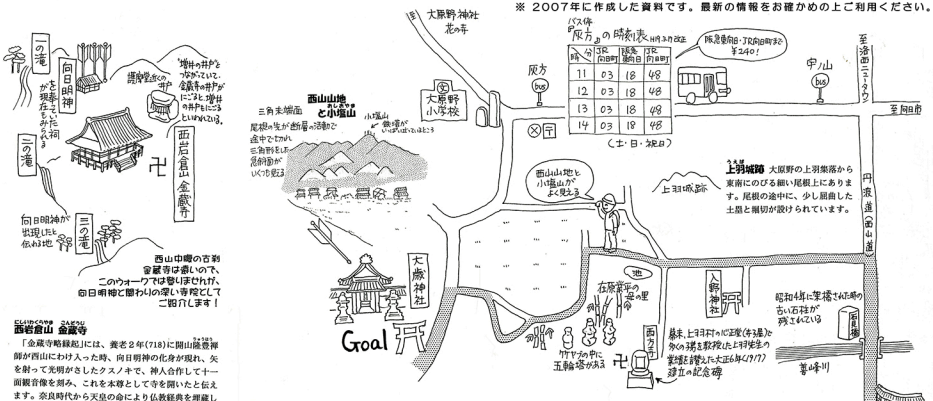
### 角宮神社

向日丘陵の先端に鎮座し、乙訓きつての重要な歴史と伝い信仰圏を誇る神社です。社長によれば平安時代の孝聖元年(710)の創建で、10世紀頃に編まれた『延喜式』に名が記載される式内社です。

本社は、室町時代の永徳2年(1412)に増井社が始まり、同9年(1422)に上建された三階三層の建築物で、国の重要文化財に指定されています。応仁・文明の乱には、地域の有力者が寄与をする場所となりました。豊臣秀吉の時に、島原の西園寺藩が拡張され、向日町の町奉行所を設け、以後、乙訓で一番の豊かな町並みとして栄えました。

幕末に近い天保年間(1830～44)に社頭の大神宮が朽朽年々、本殿が崩壊する意向にみられ、崩壊が危ぶまれる中、今見られる境内の佇まいの基盤が整えられました。

※ 2007年に作成した資料です。最新の情報をお確かめの上ご利用ください。



バス	向日	大塚野	上野城	甲山	至福園
11	03	18	48		
12	03	18	48		
13	03	18	48		
14	03	18	48		

(土・日・休日)

### 西宮野山 金藏寺

『金藏寺縁起』には、養老8年(718)に開山僧神祇が山に入りて火を焚き、向日神社の化身が現れ、矢を射て実が射しスベキとて、神人合作して一丁一丁の神像を造り、これを本尊として寺を創ったと伝えます。奈良時代から天皇の御により仏教経典を説いた聖地の一つであり、また桓武天皇が平安遷都の際、都の西側に遷都を理した場所の一つで、その時乙訓の山の上の山を賜ったとされます。平安時代に入り10世紀中に再興されて以来、天宮の名前になりました。

応仁・文明の乱や永祿・元龜の乱で火災にかり災難しましたが、江戸時代に入り、五代将軍頼朝の生母として寺を再興し、本宮をまいた。堂舎はもとを造り、今も知られる堂々とした。

明治時代初期には、堂舎が崩壊したのを移し、本堂後に安置されています。

### 向日神社の縁起にまつる伝説

江戸時代に記された『金藏寺縁起』や向日神社の社記によれば、向日明神は金藏寺のある付近に出現したとされます。山の上方へ三本の矢を放ち、最初の矢落ちたところが「龍藏(大塚野社の別名)、二本目の矢が落ちたところが「角宮(角宮神社)、三本目の矢が落ちたところが向日神社になったとされます。

### 大塚野神社

大塚野の氏神。『延喜式』に名前が載る式内社で、乙訓向日社のうちらしくない大社の一つ。祭神の大塚野は、神々の系譜によれば向日神社の祭神向日神の御神とされています。江戸時代に龍藏大明神とも呼ばれました。

細部に石作神・皇玉命を奉ります。石作神は、代々石作名を誇っていた豪族の御神とされ、今も大塚野の石作神が祀られています。

本社は、もとは延喜8年(1068)の建立が有りますが老朽化のため、昭和10年(1911)12月に長岡天満宮の社殿(寛永3年(1690)造立)が移築されました。

### 上野城神社

上野城の氏神。向日神社と同じく『延喜式』神名帳に名前がある式内社です。祭神は大塚野神社と同等で、もとは上野城御所の御所とあり、春日神が祀られた時に大塚野神社と合併したといわれています。

本社は、平安時代の長原原平の母で、桓武天皇の皇女伊弉原内皇女(1068)の御神とされています。その奥の竹やぶのなかに、在原実朝とその父の御神と伝わる3基の五輪宮があります。実平と母の歌のやりとりは『吾妻鏡』に収録されて名高く、江戸時代には多くの文人が訪れる名所となりました。

### 在原原平の母の御神

本社は、平安時代の長原原平の母で、桓武天皇の皇女伊弉原内皇女(1068)の御神とされています。その奥の竹やぶのなかに、在原実朝とその父の御神と伝わる3基の五輪宮があります。実平と母の歌のやりとりは『吾妻鏡』に収録されて名高く、江戸時代には多くの文人が訪れる名所となりました。

【参考文献】  
『向日神社』(皇統、1979年)  
『向日神社』上(1983年)、中(1986年)  
『向日神社』下(1989年)  
『大塚野』(大塚野自治会、1990年)  
『向日神社の歴史』(向日神社、1990年)  
『向日神社の歴史』(向日神社、1990年)  
『向日神社の歴史』(向日神社、1990年)  
『向日神社の歴史』(向日神社、1990年)